

# 危機管理連絡会議

日時：令和5年7月21日（金）午後1時

場所：県庁405会議室

## 協議事項

- 「新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起」について

# 危機管理連絡会議 配席図(405会議室)

日時:令和5年7月21日(金) 13:00~

危機管理環境部  
副部長

危機管理政策課長

県警本部警備部  
警備課災害対策官

教育委員会  
教育政策課副課長

病院局  
総務課副課長

(WEB会議)

西部総合県民局  
地域創生観光部  
次長

南部総合県民局  
地域創生防災部  
次長

感染症対策課長

危機管理政策課  
副課長

総合政策課  
副課長

総務課副課長

未来創生政策課  
副課長

保健福祉政策課  
副課長

企業局  
経営企画戦略課  
副課長

県土整備政策課  
副課長

農林水産政策課  
副課長

商工政策課  
副課長

災対機器室

出入口

記者発表			
年月日（曜日）	担当課	電話	担当者
令和5年7月21日（金）	感染症対策課	3298	井口

## 県独自基準による新型コロナの注意喚起メッセージについて

現在、新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数が増加傾向にあること、また、多くの学校で本日から夏休みに入り、今後は人流の増加に伴う感染拡大が発生する可能性もあることから、県民の皆様に分かりやすい形で注意喚起を行うため、県独自の基準に基づく「注意喚起メッセージ」を作成し、本日から運用を開始します。

### 1 概要

定点当たり報告数に応じて、  
「注意（黄色）・警戒（オレンジ）・嚴重警戒（赤）・警報（紫）」の4段階を設定。  
（詳細は別添「徳島県独自基準による注意喚起メッセージ」をご参照ください）

なお、「注意喚起メッセージ」は県民の皆様に変更して感染対策への意識を高めていただくよう、分かりやすい形での注意喚起を行うためのものであり、何らかの行動制限をお願いするものではありません。

### 2 公表方法

ホームページにおいて、原則として、毎週木曜日（徳島県感染症情報センターの情報更新後）に現在の状況を公表します。

（URL）<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kenko/kansensho/7218289/>

※初回は記者会見終了後に公開予定

※当該ホームページは、注意喚起メッセージの他、入院患者の状況や全国の定点当たり報告数を掲載したコーナーを設け、そちらは原則として、毎週金曜日夕方頃に更新

# 徳島県独自基準による注意喚起メッセージ

\* 第8波での医療機関への負荷状況等を参考に設定

新型コロナウイルス感染症「定点報告数」に応じた県民へのメッセージを設け、注意喚起を実施

定点報告数	5	10	20	30
メッセージ内容	注意	警戒	厳重警戒	警報



現在(7月21日時点)は

10

警戒

# 注意喚起メッセージの考え方について

第8波の際の医療機関への負荷状況やインフルエンザ、過去のとくしまアラートの基準を参考に、以下のとおり設定

メッセージ内容	注意	警戒	嚴重警戒	警報
基準となる 定点点あたり報告数	5以上	10以上	20以上	30以上
参考とした 過去の状況や インフルエンザに おける基準	(第8波の状況) 定点点あたり陽性者数5以上の時の病床使用率は15%以上 (インフルエンザ) 定点点あたり報告数1以上で「流行期入り」	(第8波の状況) 定点点あたり陽性者数10以上の時の病床使用率は30%以上 (インフルエンザ) 定点点あたり報告数10以上で「注意報」 (とくしまアラート) 病床使用率30～50%で「レベル2」に相当	(第8波の状況) 定点点あたり陽性者数20以上の時の病床使用率は50%程度 (とくしまアラート) 病床使用率50%以上で「レベル3」に相当	(第8波の状況) 定点点あたり陽性者数30以上は記録無し(最大値は24,51) (インフルエンザ) 定点点あたり報告数30以上で「警報」
※第8波における定点点あたりの陽性者数については、厚生労働省が参考値として公表(HER-SYSデータに基づく定点点医療機関からの患者数を使用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関への負荷の軽減を図るための「注意喚起の指標」であり、県民の皆様への行動制限の要請等を伴うものではない。</li> </ul>			

# 夏休み 健康生活宣言（関西府県市民の皆様へのお願い）

令和5年7月20日

府県市民の皆様の日々の感染対策への取組に感謝いたします。

**これから夏休みやお盆の季節を迎えますが、現在新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大傾向にあります。**このため、日常における皆さんの**自主的な感染対策の取組が引き続き重要**です。感染対策を行い、この夏を楽しく、健康に過ごしていただくようお願いいたします。

## 新型コロナの特徴を踏まえた自主的な感染対策を

- 基本的な感染対策として、**手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用などが有効**です。なお、マスク着用の際には、**熱中症に十分ご注意ください**。
- 帰省・お祭り・レジャー等で祖父母などの高齢の方と会われる場合や大人数で集まる場合は、感染予防を心がけ、体調を整える**ようにしましょう。
- 発熱などの体調不良時に備え、自己検査キットや解熱鎮痛薬等を備蓄しておきましょう**。

## 重症化リスクの高い方の感染を防ぐ取組を

- 医療機関や高齢者施設などでマスク着用のルールがある場合には、それに従いましょう**。
- 高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、混雑した場所、近接した会話を避けていただく**ことが感染予防対策として有効（避けられない場合はマスク着用が有効）です。
- 重症化リスクの高い高齢の方などは、オミクロン株対応2価ワクチンの接種をご検討ください**。

## 適切な受診行動を

- 受診にあたっては、あらかじめかかりつけ医や対応医療機関等に連絡した上で、適切に受診**しましょう。
- かかりつけ医が無いなど、相談先に迷う場合は、自治体が設置する受診相談センター等をご活用ください**。